

大学入学者選抜における英語4技能評価及び記述式問題の実態調査について（案）

- 英語4技能の評価や記述式出題を含めた大学入試のあり方について、エビデンスに基づいた検討に資するため、R2年度入試の選抜区分（一般、AO、推薦）ごとに、センター試験と個別試験の役割分担、英語資格・検定試験の活用状況、記述式の出題状況等について、調査を行う。
- 各大学における回答のため、2か月程度の余裕をもった調査期間を設定。
- 具体的な調査項目例は以下の通り（今後、委員の協力を得て、専門的に検討し設定）。

1. 基本データ

- 選抜区分名
- 学部・学科名、学科系統分類
- 入試形態（一般選抜、AO入試、推薦入試）
- 募集人員、志願者数、合格者数、入学者数
- 4技能、思考力・判断力・表現力をDP、CP、AP、出題方針に示しているか否か

2. センター試験の活用

- 資格試験的利用の有無
（例：一定得点以上で個別学力検査受験資格、個別学力検査免除 など）
- 合否判定に利用する科目・科目数
- 外国語の利用の有無（リスニングの利用有無）

3. 個別学力検査

- 個別学力検査の科目・科目数（英語が入っている場合はS・W・R・L）
- （センター試験も活用している場合は）センター・個別学力検査の得点割合

4. 英語資格・検定試験の活用

- 出願資格か否か
- 活用方法（例：センター、個別入試それぞれについて、免除、加点、みなし得点、満点換算 など）（複数選択）
- 活用している資格・検定試験名
- スコアの標準化方法（例：CEFR、大学独自）
- 成績の有効期限
- スコアが提出できない場合の代替措置の有無・態様
（例：スコア不要な選抜区分の設定、高校による能力証明、面接の実施 など）

5. 記述式出題

- 全ての教科科目等を対象に、枝間数ベースで解答形式の分類ごとに出題状況を把握
（例：客観式、短答式・穴埋め式、短文、長文・小論文 など）